

担い手農家の皆様への支援

本乾燥粳でのJA施設利用をご提案します！

共同乾燥調製施設では、本乾燥粳(荷受時の水分16%以下)の荷受けに対して特別料金を設定しています。

※施設への搬入時間は、午前10:00～午後6:00です。(荷受中継基地の受付は、午前10:00～午後5:00です。)

《**利用料金は、本乾燥粳 60 kgあたり 660 円(税込)です。**》

コメを集荷場所へ持込される場合にも支援します！

担い手農家のみなさまが、JAに出荷いただくお米をJAの集荷場所まで直接持込いただいた場合には、持込奨励金をお支払いします。

※集荷場所への搬入時間は、午前8:30～午後5:00です。

《**持込奨励金は、30kgにつき 50 円(税込)です。**》

電話一本でコメの庭先集荷に直接伺います！



JAに出荷いただくお米について、担い手農家のみなさまの農舎までJAが集荷に伺います。JA 営農経済センター、またはTACまでお気軽にお声かけください。

※庭先集荷のご依頼に対する電話対応、および集荷作業のTAC担当者対応時間は、月曜日から土曜日までの午前8:30～午後5:00までです。

水稻生育情報

刈り遅れに注意し、適期に収穫しましょう！

入水は、収穫に支障のない範囲で収穫直前まで！

生育状況と収穫適期

水稻の生育は平年並～やや早く進んでいます。今後、気温の高い日が続くと登熟期間が短くなりますので、収穫が遅れないよう、出穂後30日までに収穫・調製の準備をしましょう。

＜収穫時期の目安＞

湖北農業農村振興事務所農産普及課より情報提供

	田植時期	収穫適期予想 (登熟期間32～34日)
みずかがみ	4月下旬～5月上旬	8/22頃～
コシヒカリ	5月上旬	8/28頃～
	5月中旬	9/2頃～

※気温の推移や稲体の栄養状態等により成熟期の遅速があるので、ほ場で粳の黄化率を確認してから刈り取り作業を行いましょう。

いもちにご注意を！！

令和3年産米において、8月の天候不順によるいもち病が各地で発生し、収量減少の影響を多くの生産者が受けました。収穫前にほ場を見て回り、いもちの発生が認められたほ場では、適期に防除しましょう。

このような症状が見られたら防除をおすすめします！

いもち病



ごま葉枯病



稲こうじ病



ブラシフロアブル

ブラシ粉剤DL



治療効果にすぐれるフェリムゾンと、予防効果に定評のあるフサライドの混合剤で、散布適期幅が広がっています。

ごま葉枯病や変色米など穂枯れ性病害にも有効な総合殺菌剤で稲こうじ病のほか内穎褐変病やもみ枯細菌病にも有効です。

ブラシフロアブル【適応内容】

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	1000倍	60~150 ㍓/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内
	ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	300倍	25 ㍓/10a					
	褐条病 変色米 (カーブラリア菌) (エビコッカム菌) (アルタナリア菌)	30倍	3 ㍓/10a			空中散布		
	稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 墨黒穂病	8倍	800ml/10a			無人航空機による散布		

ブラシ粉剤DL【適応内容】

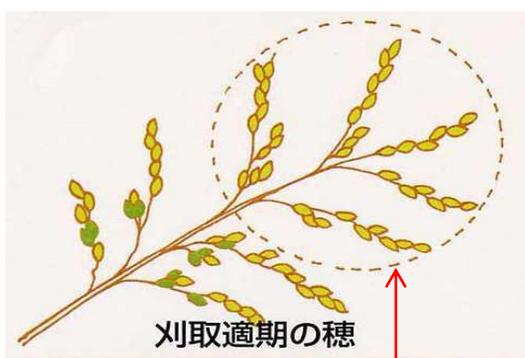
作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) (ずじ葉枯病菌) 変色米 (カーブラリア菌) (エビコッカム菌)	3~4 kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内
	内穎褐変病 稲こうじ病 もみ枯細菌病	4 kg/10a					

お買い求めの際は営農経済センター・各営農経済係までご連絡下さい！

収穫時期の判断

収穫時期が近づいたら田んぼに入って、
籾の黄化を確認しましょう。

- 籾黄化率50%で、収穫7日前
- 籾黄化率85~90%
(みずかがみは90%)で、収穫適期



刈取適期の穂

上から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃

収穫までの水管理

落水時期の目安は収穫の5日前です。

白未熟粒や胴割粒の発生を防ぐため、収穫に支障のない範囲で、できる限り落水を遅らせましょう。



8月は水がとても貴重な時期です。入水する場合は水が届きにくい圃場のことも考慮し、地域で水資源を分けあいましょう！



収穫作業時の事故防止

コンバイン作業事故にご注意下さい！

コンバインによる事故は、以下の3点が多く発生しています。

- ☑ **圃場内・移動中の転倒・横転**
圃場の進入・脱出時は特に注意
運転席から見えないところには特に注意しましょう。
- ☑ **整備中の事故**
点検・整備時は必ずエンジンを止めましょう
カバーを外したままの使用は危険です。
- ☑ **巻き込まれ**
手こぎ時はだぶつく服装は巻き込まれやすい！
ぴったりした手袋・服装で作業しましょう。



大麦【令和5年産大麦の栽培に向けて】

～早めの排水溝設置で適期は種を目指しましょう～

水稻収穫後は、次年産大麦の栽培に向け、以下を参考に大麦播種の準備を始めましょう。早めの準備で、適期播種がやりやすくなります！！

○早めの額縁排水溝の設置

水稻収穫後、早めに額縁排水溝を設置し、中干し溝と併せてほ場を乾かします。また、コンバイン収穫で荒れているほ場の上下は出来るだけ均平作業を行いません。

○排水溝の設置

田の乾湿に合わせて、排水溝の間隔を決め（排水の悪いほ場では畦幅を狭く）、畦面や排水溝に水たまりが出来ないように表面排水を行います。また、必ず排水溝を排水口までつなげます。



○土づくりの実践(石灰質資材等の施用)

粒状苦土石灰(100kg/10a)を必ず施用します。土壌pHの目標値は6.5になります。

滋賀県農業機械研修のご案内

滋賀県立農業大学校と株式会社 滋賀重農機整備センターで農業機械研修が実施されます。

大型特殊農耕用免許・農耕用けん引免許の取得を希望される方は、受講されてはいかがでしょうか。



・**農業機械研修Ⅰ** ※受講申し込みが定員に達した場合、抽選となります。

	研修の種類	研修日時	定員	申込期日
1	農業機械基本研修(実技編)	令和4年10月26日(水) 9:00～15:00	20名	令和4年9月1日(木)～ 9月22日(木)
2	農業機械基本研修(点検編)	令和4年12月2日(金) 9:00～16:00	20名	令和4年10月5日(水) ～10月26日(水)

・**農業機械研修Ⅱ** ※受講申し込みが定員に達した場合、抽選となります。

	研修の種類	研修日時	定員	申込期日
1	トラクタ基本研修	第1回 令和4年10月3日(月)～ 7日(金) 9:00～16:00	各20名	令和4年8月19日(木) ～8月26日(木)
		第2回 令和4年10月17日(月) ～21日(金) 9:00～16:00		
2	けん引研修	令和4年12月2日(金) 9:00～16:00	20名	令和4年9月26日(月) ～10月3日(月)

受講を希望される方は各担当TACにお問い合わせください！

大豆大雨被害への対策

① 冠水したほ場においては、茎疫病や葉焼病等の発生が懸念されることから、排水後、病害の発生に十分注意し、発生を認めたら殺菌剤を散布する。

薬剤 茎疫病：リドミルゴールドなど 葉焼病：バリダシン液剤5など

② 結実期から若莢期を迎えているほ場では、紫斑病の発生が懸念されることから、天候が回復した後に殺菌剤を散布する。

薬剤 紫斑病：アミスタートレボンSEなど

大豆「里のほほえみ」と「オオツル」の見分け方

大豆のコンタミに注意してください！

令和5年産大豆から本格的に「里のほほえみ」の作付けが開始しました。「オオツル」のコンタミが懸念されますので花の見分け方をご紹介します！

里のほほえみ



オオツル



上の写真で分かる通り、「里のほほえみ」は白、「オオツル」は紫の花が咲きます。混在している圃場があればコンタミにならないよう抜き取りをお願いします。

病虫害防除

- 大豆は子実害虫の食害による減収や品質低下が著しいため、薬剤防除は必要不可欠な作業です。
- 莢が付き始める8月中旬から9月中旬にかけて10日おきに4回の薬剤防除を徹底します。
- 薬剤の散布には専用噴頭を用いるなどして葉の裏や莢に薬剤が十分かかるようにします。

防除時期	薬剤名	散布量	対象病虫害
8月中旬	トレボン粉剤DL	4kg	カメシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマハエ、マメシクイガ、ハスモンヨトウ、フタスジヒメハムシなど (10aあたり)
8月下旬	アミスタートレボンSE (ドローン散布登録あり)	100ml /100ℓ	マメシクイガ、カメシ類、紫斑病、アブラムシ類
		100ml /0.8ℓ	
9月上旬	ロムダンエアー (ドローン散布登録あり)	50ml /0.8ℓ	ハスモンヨトウ
9月中旬	プレバゾンフロアブル5	25ml/100ℓ	ウコンノメイガ、ハスモンヨトウ、マメシクイガ

令和5年産水稻に向けた土壌改良資材の紹介

タイプ

おすすめ肥料

資材要件

- A**
- ・バランスよく土づくりをしたい
 - ・複年で土壌養分を改善したい



とれ太郎スーパー

基準量：60kg/10a

リン酸・ケイ酸・アルカリを
保証する肥料

《ク溶性リン酸・苦土・ケイ酸・アルカリ分をバランスよく含む総合的な土づくり肥料！》

- B**
- ・不足成分に特化して補いたい
 - ・特に品質の向上を狙いたい



けい酸加里プレミア34

基準量：秋春 40kg/10a

追肥 20kg/10a

ケイ酸・加里を保証
する肥料

《管内で不足しているケイ酸と加里の吸収効率を高めた土づくり肥料！》

- C**
- ・複年で転作に取り組んでおり、
大麦や大豆の収量も高めたい



新ふりかけ堆肥eco

基準量：100kg/10a

牛フン堆肥を濃縮した肥料
または
牛フン堆肥1t/10a以上

《腐植酸と有機物の効果で地力窒素を向上させ土壌のバランスを改善する肥料！》

土壌分析

管内の担い手農家を対象に、**無料**で土壌分析を行っております。

近年、水稻の収量・品質低下の原因の一つには、地力の低下が考えられます。ご自身の水田土壌の状態を調べ、不足している養分を補う事が収量・品質向上の第一歩です！

資材投入を機に土壌分析をご希望の方は、お気軽に各担当TACまでご相談ください！！

対象者

担い手農家（認定農業者、農業法人及び集落営農組織）

分析点数

担い手あたり5点までとします。（5圃場）

土壌分析基本項目

水田：pH、CEC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸

その他：pH、EC、CEC、硝酸態窒素、りん酸、石灰、苦土、加里

**どの土づくり肥料を施用
すればよいか迷っておら
れる方、一度土壌分析を
されてはいかがでしょうか？**

NOSAI滋賀からの情報提供

園芸用ハウスの万が一に備えていますか？

近年、線状降水帯の豪雨や台風などの異常気象により園芸用ハウスの被害が増えています。万が一の災害に備えてNOSAIの園芸施設共済を検討してみてもはどうですか？

共済事故(補償の対象となる災害)



風水害



ひょう害



雪害



火災



地震

【その他】落雷・車両の衝突・航空機の墜落・破裂・爆発・病虫害(施設内農作物加入者)

興味がある方はNOSAI滋賀 北部支所(73-4321)までお問い合わせください！